

## 大雨で被害を受けられたみなさまへ（島根県税務課からのお知らせ）

この度の大雨により被害を受けられたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。  
災害により被害を受けた場合、次のような県税特例制度があります。まずは最寄りの県民センターの窓口へご相談ください。

県 税	申告書等の提出期限・納税の期限の延長制度
	災害のやんだ日から2月以内を限度として延長されます
	納税の猶予制度
	被災されたために納付することができないと認められるときは、納税が一定期間猶予されます
	減免制度 要件に該当する場合には軽減措置があります
	自動車税
	・被災した自動車を修繕した場合に、損害の程度に応じて減免されます ・災害により自動車の運行ができない地域にある自動車について、運行できなかった期間に応じて減免されます
自動車取得税	・災害により滅失又は損壊した自動車に代わる自動車の取得に対して、損害の程度に応じて減免されます
	不動産取得税
	・不動産を取得後、災害により滅失・損壊した場合に減免されます ・被災した不動産に代わる不動産を取得した場合に減免されます
その他の税目（法人県民税・事業税、個人事業税、狩猟税）も減免制度があります	

【お問い合わせ先】東部県民センター雲南事務所（雲南市木次町里方531-1[雲南合庁1階]） 電話:0854-42-9520

## 第15回 奥出雲町子ども・子育て会議を開催



▲会議の様子

第4期目となる奥出雲町子ども・子育て会議において10名の委員が任命されました。この会議では、奥出雲町の子ども・子育てに関する事業や環境などを審議され、子どもが健全に成長し子育てがしやすい町づくりをめざすものです。

7月17日は、子育てを取り巻く現状や、子育てを応援する取組をしている事業所を認定する、「おくいずも子育て応援事業所」の認定基準の確認などが行われました。



▲委員に委嘱状を交付

## 奥出雲病院で消火技術大会開催



▲大会の様子（消火器を用いた消火）

病院での消火技術の向上と、防火意識の高揚を目的に、奥出雲病院の「消火技術大会」が7月13日に行われました。

この大会は平成14年から毎年行われ、今年で17回目の開催です。

今回は、部署毎に組まれた8チームが出場。消火器による消火と消火栓からの放水による消火を行い、その正確さとスピードを競いました。

出場者は、万が一の事態に活かそうと、真剣に取り組み、また、避難方法について雲南消防本部から指導を受けました。

大会を通して、出場者はもちろん病院関係者全員が防火意識を新たにしていました。



総会の様子（7月5日）

## 奥出雲町教育魅力化協議会通信 Vol.2

### 教育魅力化協議会の 総会を開きました

～奥出雲町の子ども像、育てたい力について～



▲委嘱状の授与

奥出雲町教育魅力化協議会（事務局）  
（教育委員会教育魅力課内）  
有線：20-4264  
電話：52-2672

奥出雲町では平成30年度、町の将来を担う子ども像を、小・中学校、高校、家庭、地域と共有し、連携を図りながら、奥出雲町らしい教育を一層充実させることにより、奥出雲町の教育の魅力化を推進することとを目的に、「奥出雲町教育魅力化協議会」を設置しました。  
7月5日には、幼稚園、小・中学校、高校や企業、保護者、社会教育関係者などから組織された20名の委員による総会が開かれました。総会では、それぞれの立場から「町の子どもたちへの思い」や、「育てたい力」についての意見を頂き、幼・小・中・高の系統的な「育てたい力」を定めるための方向性や、キーワードなどについて意見交換を行いました。  
今後は、推進会議により、さらに協議を進めていきます。

## 国民健康保険のお知らせ

- ①平成30年8月から70歳以上75歳未満の人の所得区分と限度額が一部変わりました。  
＜主な変更点＞  
・現役並み所得区分について、3段階に細分化され、現役並みⅠ、Ⅱについては限度額適用認定証を発行します。  
・一般区分については、外来の自己負担限度額が14,000円から18,000円に引き上げられました。医療費が高額になる方などは窓口で手続きが必要です。

所得区分	外来+入院（世帯単位）	
	外来（個人単位）	
現役並み所得者	Ⅲ（課税所得690万円以上）	252,600円 + （総医療費－842,000円）×1%
	Ⅱ（課税所得380万円以上）	167,400円 + （総医療費－558,000円）×1%
	Ⅰ（課税所得145万円以上）	80,100円 + （総医療費－267,000円）×1%
一般	18,000円	57,600円
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ		15,000円

- ②高齢受給者証と保険証が一体化されました。  
これまで70歳以上75歳未満の人は、医療機関の窓口で「保険証」と「高齢受給者証」の2枚の提示が必要でしたが、平成30年8月1日から「保険証」と「高齢受給者証」が一体化されたため、1枚の提示となります。  
※平成30年8月1日以降、70歳になられる方は誕生月の月末（1日生まれの方は前月末）が保険証の有効期限になっています。有効期限までに「保険証」と「高齢受給者証」が一体化された新しい保険証をお送りします。

【お問い合わせ先】健康福祉課 医療介護保険グループ 有線:31-5124 電話:54-2511